

脳神経内科・脳神経外科に通院中の患者さん又は通院歴のある方へ
（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療の中で得られた診療情報や画像検査の結果等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》内頸動脈狭窄が脳萎縮・脳小血管病および脳年齢に及ぼす影響に関する縦断観察研究

《研究機関名・研究責任者》関西医科大学附属病院 脳神経内科 准教授 國枝 武伸

《研究の目的》内頸動脈狭窄とは、首の動脈（内頸動脈）が細くなる病気で、脳梗塞の原因の一つです。

この研究では、内頸動脈狭窄の程度や血流の状態が、時間の経過とともに脳の萎縮、脳小血管病の進行、さらにMRI画像から推定される「脳年齢」にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。この研究により、内頸動脈狭窄のある患者さんで、どのような方が脳の変化を起こしやすいのか、また治療介入の適切な時期を考えるための参考になることが期待されます。

《研究期間》研究機関の長の許可日～2031年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2010年1月1日から2025年12月31日までの間に、関西医科大学附属病院で頸部超音波検査、頸部MRA検査、頸部造影CT検査、脳血管造影検査のいずれかによる頸動脈の評価を受けた18歳以上の内頸動脈狭窄患者さんで、頭部MRIを2回以上受けている方を対象とします。

●研究に用いる情報の種類

- 年齢、性別、身長、体重
- 病歴、既往歴、家族歴、生活状況、治療内容、治療経過
- 血液検査、尿検査の結果
- CT、MRI、MRA、頸動脈エコー、SPECT、脳血管撮影（DSA）などの画像検査結果
- 心電図、心エコーなどの検査結果
- 脳卒中の再発、心血管イベント、死亡、認知症診断などの経過情報

《情報の利用又は提供を開始する予定日》2026年8月1日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

研究に利用する情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科

大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 脳神経内科

担当者：池田 宗平

〒573-1010 大阪府枚方市新町 2-5-1

電話：072-804-0101（代表）